

こんにちは!!

市長です

Vol.31

「#ありがとう」

1月16日に、国内で初めて確認された新型コロナウイルス感染症の拡大が、ようやく収束に向かいつつあります。5月26日には緊急事態宣言が全面解除になりましたが、長期間学校が休校になるなど、社会経済活動が止まってしまいました。

この間、医療の最前線で感染症の危険に身を置きながら、懸命に治療に当たっている医療従事者の皆さんに、心から感謝を表します。家族への配慮から家にも帰らず、ホテルに宿泊したり車中で過ごしたりした人もいたそうです。

医療従事者とその関係者ということで、差別や嫌がらせを受けたという話も聞きます。心ない言動に憤りを感じます。

渋川市では、医療従事者に敬意と感謝を伝えるため「#ありがとう」プロジェクトを行いました。医療現場に不足している防護衣を長持ちさせるための手作りによるガウンの作成や、市民の皆さんから医療従事者への感謝のメッセージの募集などを行っています。

メッセージは、早速医療機関に届けました。関係者からは、「医療スタッフとしてやるべきことをやっている」「市民の皆さんの暖かい気持ちの仕事の支えになる」といった答えが返ってきています。

コロナ対策は、人との距離を空ける行動を求めています。が、心の距離までは広げないようにしたいものです。

普通の日常生活が送れることに感謝し、コロナと共存していく新しい生活様式を築いていきましょう。



▶「看護の日」に行った感謝の拍手